

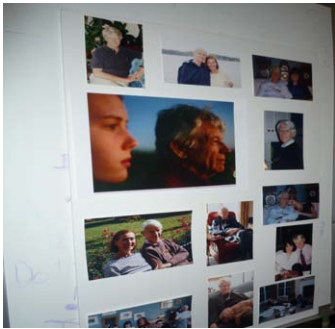
# ロバート・N・バトラー ILC 米国センター理事長 追悼式が行われました



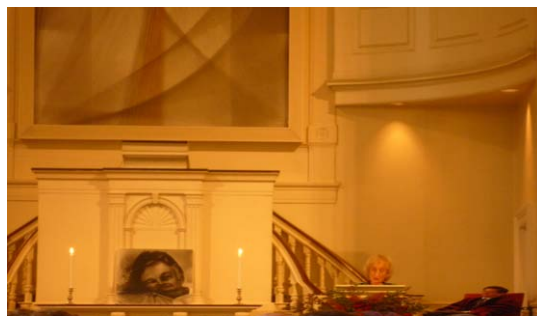
2010年9月29日(水)、16時よりニューヨークのマンハッタン、All Souls Unitarian Church にてロバート・N・バトラー ILC 米国センター理事長の追悼式が行われました。

All Souls Unitarian Church

会場に飾られた幼いころからの数々のバトラー博士の写真が、世界各国から集まった約400名の友人達を迎えてくれました。



ILC グローバル・アライアンスからは、森岡 ILC 日本顧問、グリーングロス ILC 英国理事長、フォレット ILC フランス理事長、ペレイラ ILC ドミニカ共和国理事長、ダイチマン ILC アルゼンチン理事長、大迫 ILC グローバル・アライアンス事務局長の6名が出席し、代表でグリーングロス ILC 英国理事長が代表してお別れの挨拶を述べました。



弔辞を述べるグリーングロス ILC 英国理事長

バトラー博士のご遺族から、博士の偉業を継承するため、高齢化に関する公共政策、教育、研究、啓蒙活動を支援する「ロバート・バトラーチャリティ基金」を設立したことが伝えられました。

## - バトラー博士へのお別れと約束 -

Baroness Sally Greengross  
Chief Executive, ILC- UK

Bob が常に私たちに与えてくれたメッセージの根幹にあったものは、「不可能なことは何もない」ということだったと、私は思っています。

彼が生涯追い求めてきた理念の実現に向けた行動、つまり高齢者の生活を改善し、高齢者が頻繁に受けている否定的な態度や差別を無くすための行動であれば、どんなことだってやり遂げられるにちがいない、という強い意思でした。

私達がかつてないほどの長寿を与えられたことを、心から感謝し称賛すべきであると彼は信じていました。そしてこの信念は、彼の活動の隅々まで浸透していました。

彼はまた、周りの人に「自分は何でもできる」と信じこませることができる人でした。私がまさにそうでした。

米国の特別議会と上院委員会の両方で、彼は私に対して「ヨーロッパにおける成功事例」について、7分で発言するように促しました。何の準備もない状況で、とてもそんなことはできないと訴える私に対して、彼は「君ならもちろんできるよ、サリー。自分が知っていることを話せばいいだけなのだから。」とやさしく言いました。

その場を何とか切り抜けることができたのは、彼が私を奮い立たせてくれたおかげです。このように彼は、私達皆に対して力を与えてくれる最高の指導者でした。

彼が世界中の聴衆を感化していくのを側で見られるのは、私たちの特権だったと思います。彼はそれまでの政策や慣習に極めて大きな変化をもたらしました。彼の業績は広く知られ、「agism」だけでなく「shortevity」という言葉も作りました。

しかし仕事を一步離れれば、Bob は私の親友でした。Bob と Myrna がロンドンの私の自宅に初めて滞在したのはアレキサンドラが2歳半の時でした。昨年フィアンセと一

緒のアレキサンドラに再会して、ボブが家族の中でどれだけ幸せな時を過ごしていたかを思い出しました。二人の可愛いお孫さんも一緒に、皆でビッグベンに上った時もそうでした。

私の夫 Alan が、Bob のためにロンドンの多くの史跡巡りのプランを作りました。Bob は、とてつもない距離を断固として歩く人でしたから、私はついて行くのに必死なことがよくありました。亡くなる直前に彼の本が出版されましたが、彼が最期までそれほど活動的でいられた要因は、彼自身の健康と知力維持に対する強い熱意の結果だと思っています。

私を含め、世界各国の ILC の仲間からの Bob への賛辞は、ILC グローバルアライアンスの活動を発展させる原動力になっています。

「高齢者の持つ経済的、社会的な能力を認識し活用すべきである」という Bob のメッセージに世界が耳を傾ければ、バランスのとれた、より人道的な世界が間違いなく実現します。ですから私は、ILC が発足した当初から Bob、日本の森岡茂夫、フランスの Françoise Forette と共に関わってこられたことを大変光栄に思っています。

私達は今後も ILC の活動を通じて、Bob の精神やリーダーシップが世界にインスピレーションを与え続けることに貢献できると思います。そして私たちには、少なくとも自分達の力で達成できる事はすべて行う義務がありますし、そうすることをお約束いたします。

Sally Greengrove



The Butler Daughters have established the Robert N. Butler, MD Charitable Fund which is dedicated to continuing their father's work in advocacy, public policy, education and research for the benefit of aging populations.

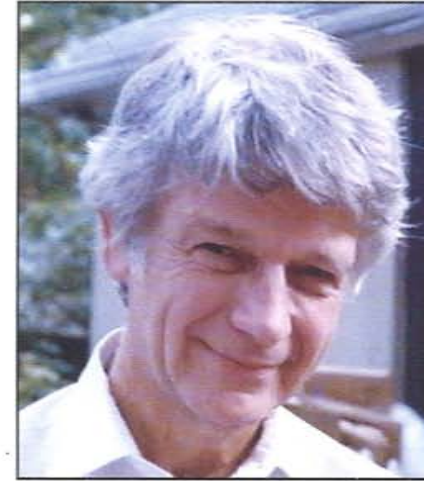
To contribute, please make your check payable to the "Robert N. Butler Charitable Fund" and forward to:

Cynthia Butler  
3211 Homewood Road  
Davidsonville, Maryland 21035

For further information, email [butlergleason@gmail.com](mailto:butlergleason@gmail.com).



## A Celebration of the Life of



**ROBERT N. BUTLER, MD**

January 21, 1927 – July 4, 2010

Wednesday, September 29, 2010 at 4 p.m.

All Souls Unitarian Church  
New York City

## ORDER OF SERVICE

*The choral music for this service is taken from  
Duruflé's Requiem ("requiem" is Latin for "rest.")*

ORGAN PRELUDE                      Walter Klauss, Organist

OPENING WORDS                      Galen Guengerich

PRAYER

MUSIC *Requiem aeternum* and *Kyrie eleison*  
Maurice Duruflé (1902-1986)

TRIBUTES

W. Andrew Achenbaum  
Diane Meier, MD  
Barbara Paris, MD  
Diane Eickhoff

SONG *Last Night When We Were Young*    Harold Arlen  
sung by Alexandra Butler  
Justin Stoney, piano

TRIBUTES

John W. Rowe, MD  
Morriseen Barmore  
Everette Dennis  
Baroness Sally Greengross

MUSIC *Lux Aeterna*

Maurice Duruflé

TRIBUTES

Mal Schecter  
William D. Zabel  
Dori J. Maynard

MUSIC *Sanctus*

Maurice Duruflé

CLOSING WORDS

BENEDICTION

POSTLUDE

Walter Klauss, Organist



*Please join us following the service for a reception  
in the vestibule and garden, weather permitting.*

*The Rev. Galen Guengerich is Senior Minister of All Souls.  
Walter Klauss is Minister of Music at All Souls,  
and Founding Conductor of Musica Viva of New York.*